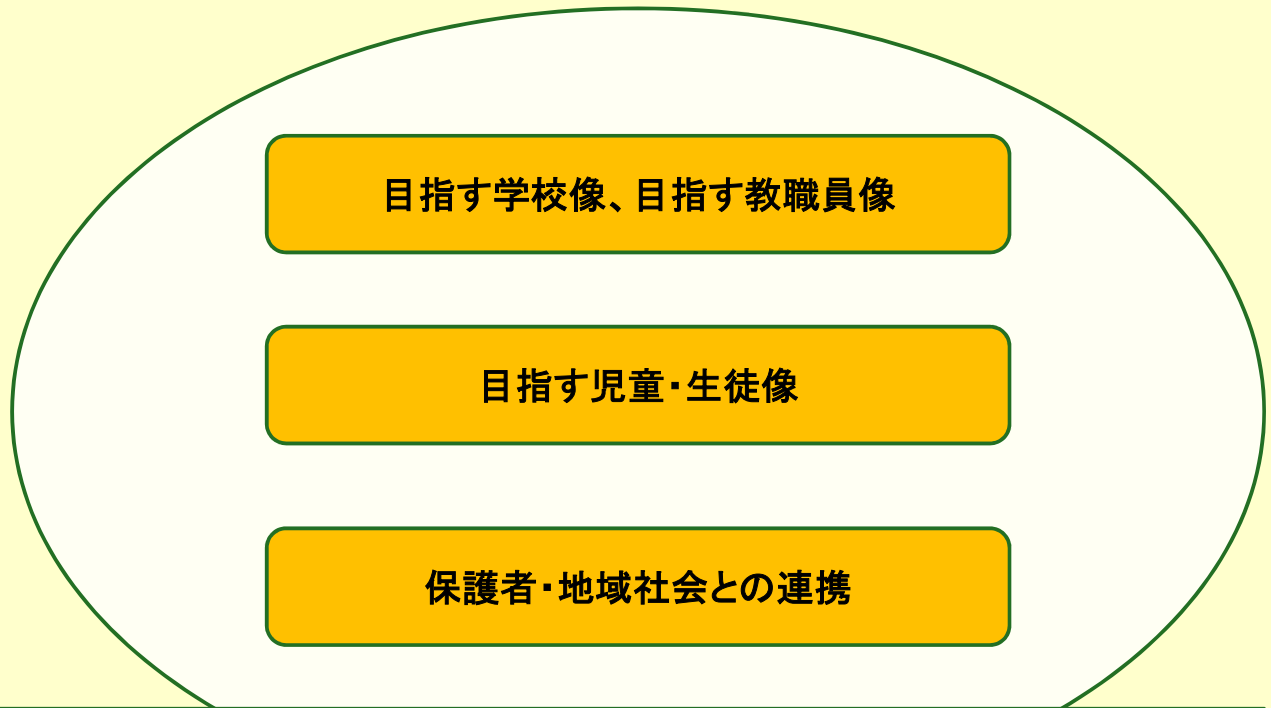
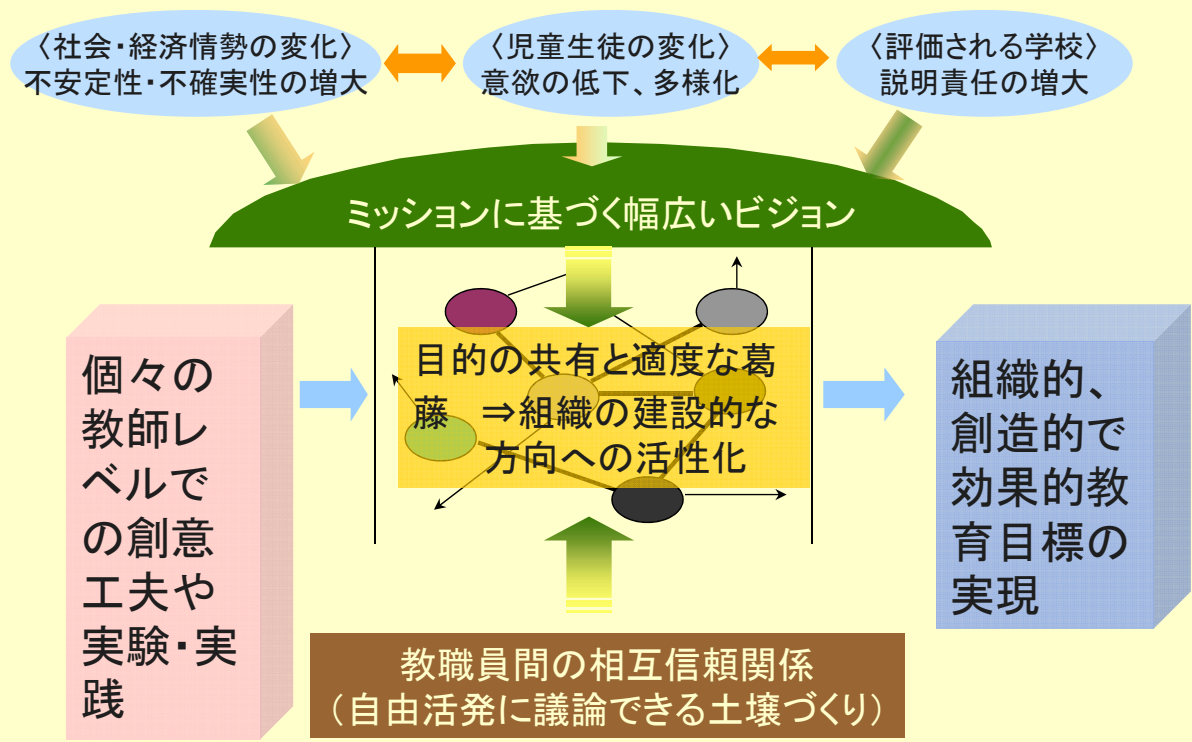


経営理念の意思決定<経営ビジョン>

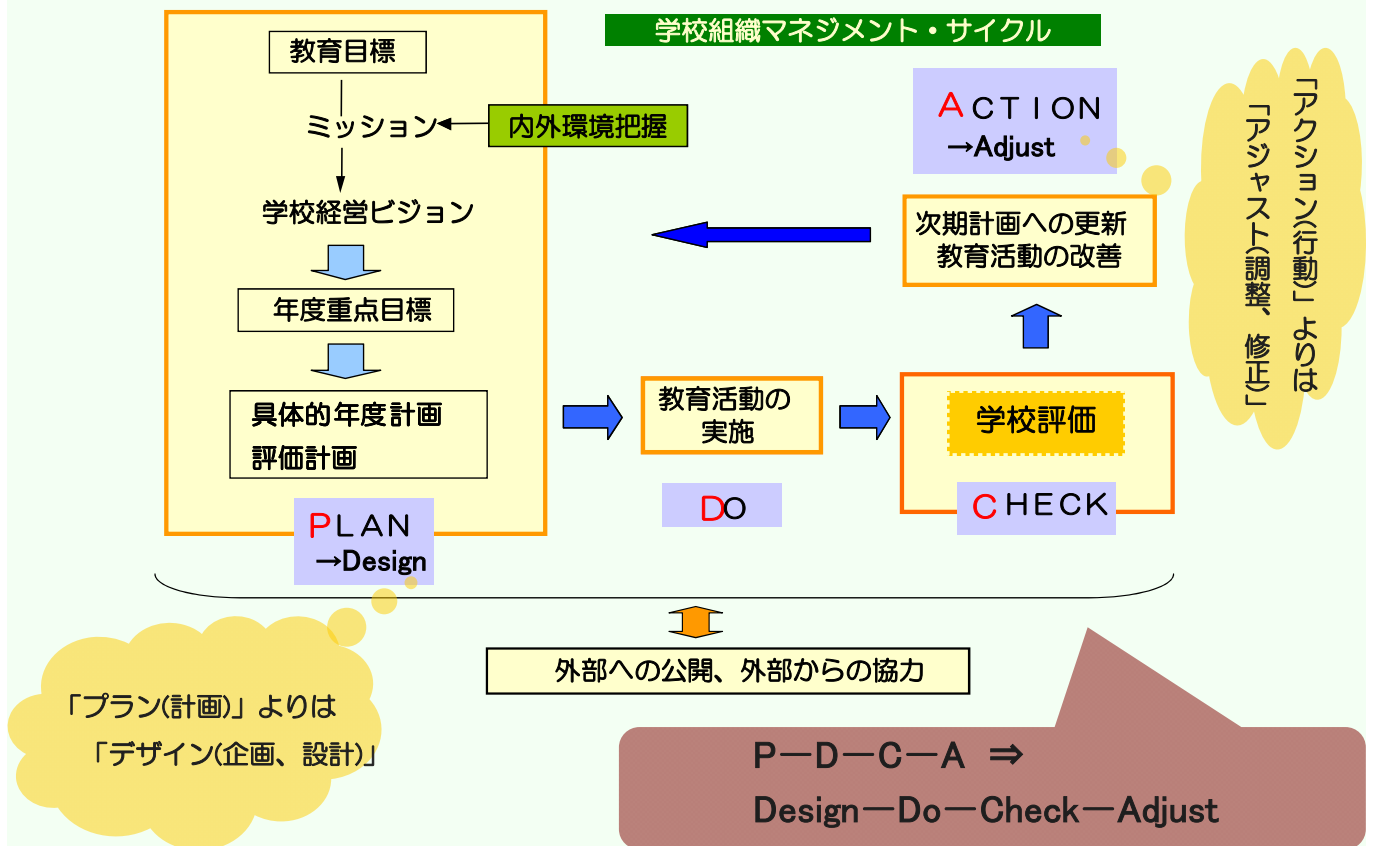


学校設置者の教育改革構想、公教育経営の意思<ミッション>

なぜ、ビジョンが重要か？



学校組織マネジメント・サイクル



学校組織マネジメントで「学校力」向上

- 学校の現状を知る → SWOT 分析
- 学校のミッションを確立し、校長としてのビジョンを明示
- (中期)学校経営計画を立案
- 今年度の重点課題を確定
- P-D-C-Aのマネジメントサイクルを策定

↓
経営資源(ヒト、モノ、カネ)の効果的運用



学校評価の目的

＜組織マネジメント、組織改善＞・・・専門的目標・意義

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。

＜説明責任、関係者間の連携・協働＞・・・本来の趣旨

- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。

＜学校のガバナンス、公教育の質保証＞・・・システム改革

- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

改正学校教育法について(条文)

(小学校の規定、中学校等には準用)

- 第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。
- 第43条 小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。

学校教育法施行規則の改正について(条文)

(小学校の規定、中学校等には準用)

- 規定の概要

- (1) 自己評価の結果の公表(第66条)

- ① 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする(第1項)。
- ② 前項の評価を行うに当たっては、その事情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする(第2項)。

- (2) 関係者評価の結果の公表(第67条)

小学校は、前条第一項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校関係者(当該小学校の職員を除く。)による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

- (3) 評価結果の公表(第68条)

小学校は、第66条第一項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

* 幼稚園、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校にも準用

第42条の分析(学校評価とは)

- (根拠) 法規と文部科学大臣の定める「ガイドライン」により
- (何を) 当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について
- (目標) 結果に基づき学校運営の改善を図るため
- (実施) 必要な措置を講ずる
- (目的) 教育水準の向上に努めなければならない

第三者評価

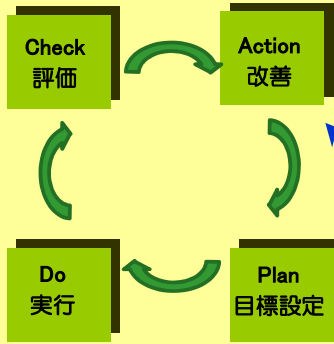
第三者(当事者・関係者でない者)による評価

学校関係者評価(外部評価)

自己評価

教職員による評価

具体的かつ明確な目標等を設定し、実行し、自ら評価する。



外部アンケート等

児童生徒・保護者等を対象に行うアンケート等による評価であり、自己評価の資料等に活用する。

学校関係者(保護者・地域住民)による評価

学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価結果を踏まえて評価する。

これにより、教職員と共通理解をもつとともに、学校の改善のために教職員と連携・協力する。

自己評価・学校関係者評価(外部評価)結果等を資料として活用しつつ、学校運営全般について、専門的立場から評価する。

評価結果を学校・設置者等にフィードバックして改善を促し、学校運営の質を高める。

※自己評価・学校関係者評価(外部評価)・第三者評価の囲みは、定義として内を含む範囲ではなく、評価対象として含む範囲を指す。

自己評価(各学校の教職員が行う評価)

- 学校の自己改善力を向上させるための自己評価
- 自己評価は、学校評価の最も基本となるものであり、学校長のリーダーシップの下で、全教職員自らが、目標設定を行い、その達成状況や達成に向けた取組の状況を検証することにより、学校の現状と課題について把握し、学校運営の改善につなげることを目的として行うもの
- 各学校が設定した教育目標(学校教育目標)を達成するために行うすべての活動を対象として、これらを一定の基準に基づき、客観的にかつ総合的に評価し、改善の方向や改善点を明らかにすること
- 学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たし、保護者、地域住民などが情報や課題を教職員と共有しながら学校運営に参画しその改善を進めていく上で重要

学校関係者評価

(保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価)

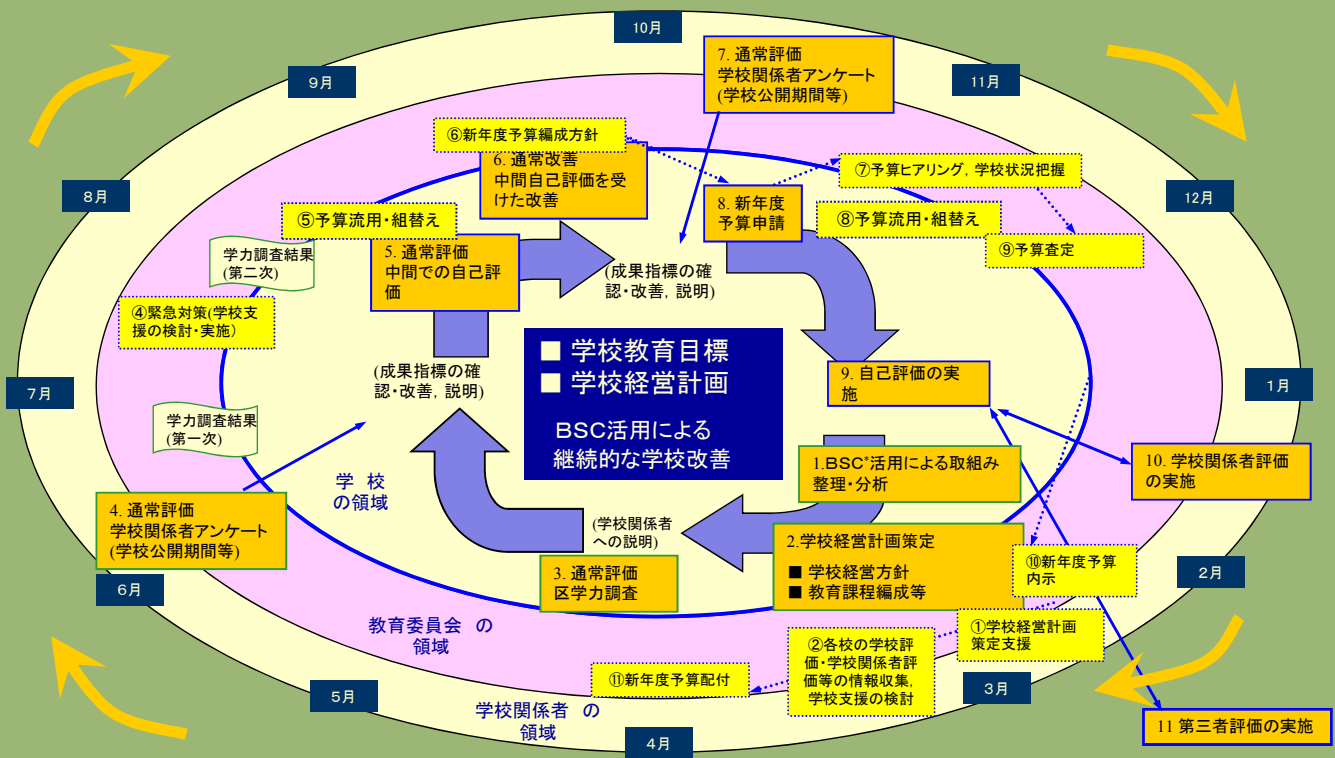
自己評価の結果について評価する学校関係者評価

学校関係者評価は、「保護者」「学校評議員」「地域住民」「青少年健全育成関係団体の関係者」「接続する学校」の教職員、その他の学校関係者等により構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行うもの

学校と教育委員会の新しい姿(例)

【凡例】
学校の活動
教育委員会の活動

新学校経営モデルでは、バランススコアカードの概念を用いて、学校経営の取組みを整理・分析し、当該年度の重点目標を設定する。また、中間および年末に、この重点目標への達成状況を評価し、次年度への改善に繋げることを想定している。



*BSC=バランススコアカード

バランスト・スコアカード 4視点の学校教育への応用

納税者としての
市民の視点
(目標/評価指標)

＜過去の視点＞財務と成果データなど

- 学校予算などの適正な執行
- 教育成果(学力調査結果、体力測定結果など、すでに測定・評価された結果)など

児童・保護者・
地域等の視点
(目標/評価指標)

＜現在の視点①＞関係者評価データ等の活用

- 学校選択の結果など
- 入試倍率など

学校での取組み
の視点
(目標/評価指標)

＜現在の視点②＞バランスのとれた教育活動の状況

- 確かな学力の育成
- 人権尊重、問題行動対策など

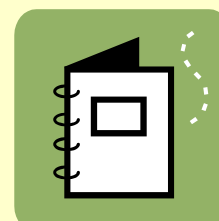
組織・人材
の視点
(目標/評価指標)

＜未来の視点＞研修や人材育成の状況など

- 職能成長の保証
- リーダーシップとフォロアーシップのバランスなど

各学校が作成する経営方針(事例)

- 1. 学校経営方針
- 2. めざす学校像、児童・生徒像、教師像
- 3. 学校の現状(よさと課題)
- 4. 中期目標(3カ年計画)
- 5. 平成24年度の重点目標・達成目標・具体的な方策



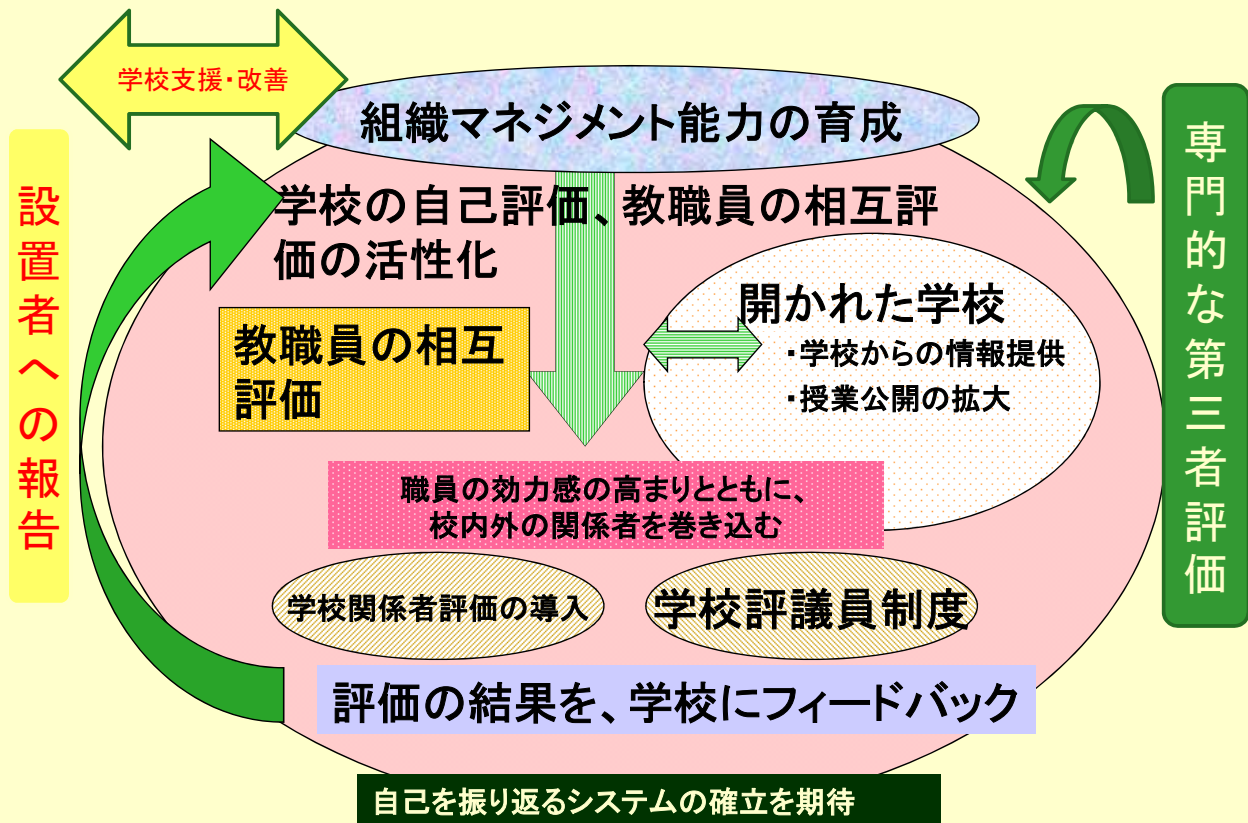
今、学校評価が抱える問題状況

- (1) 学校評価(自己評価)が多忙化を助長している
- (2) PDCAの学校組織マネジメントが定着していない
- (3) 学校関係者評価が機能していない
- (4) 設置者への報告が活用されていない
- (5) 評価システム全体の実効性が希薄である

学校評価を再検討する視点

- (1) 目的の明確化
- (2) 活用できるデータの創造と再検討
- (3) アンケートの充実と「アンケート主義」からの脱却
- (4) 学校評価研修の充実
- (5) 重要性、緊急性、簡便性などの視点から再整理

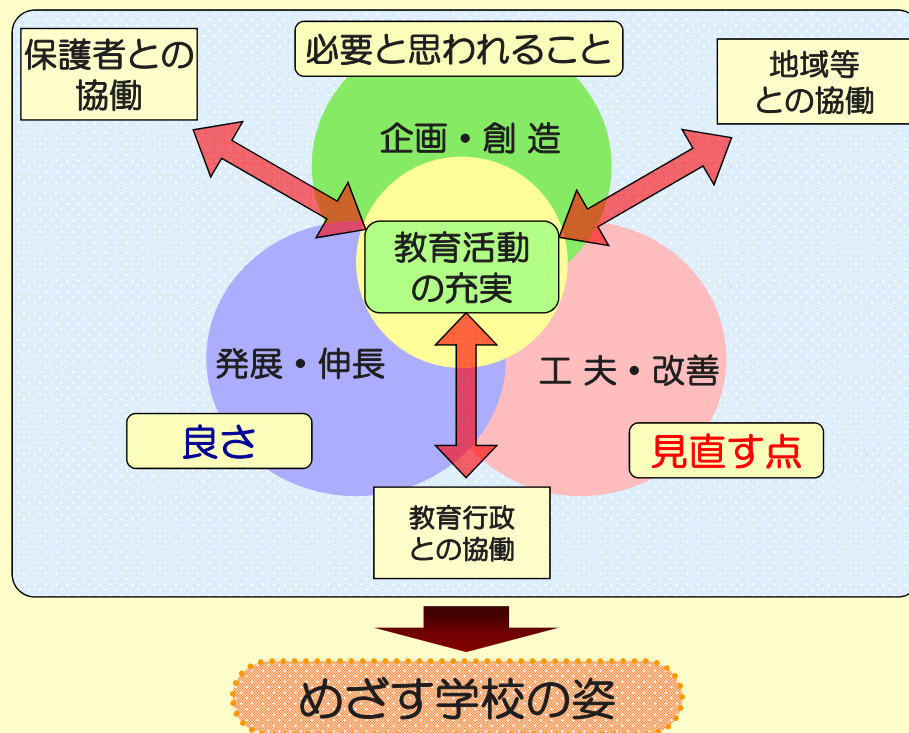
Win-Winな学校評価システムの開発



みんなで考えよう「私達の学校」の未来

- * この街をもっと魅力的にしよう
- * 子どもたちも街の主役
- * 良い地域が良い学校を創る
- * 子育ては自分育ち
- * 学びを通じて、人がつながる

評価システムを学校改善のツールに



玉川大学教職大学院（小松郁夫 研究室）

電話：042-739-8229 メール：ikuo202@gmail.com

以下のサイトもご覧ください

http://benesse.jp/berd/berd2010/feature/feature02/komatsu_01.html

<http://benesse.jp/berd/berd2010/video/index.html>

- * 今、「震災と危機管理」を研究中
- * 『「新しい公共」型学校づくり』（ぎょうせい、編著）を23年10月に出版



*年度 ○小学校

戦略マップ

人間力
生きる力

確かな学力

豊かな人間性

健康・体力

基礎・基本
の定着

進んで学ぶ
意欲の向上

自ら考え判断
し行動する力

思いやりと共生
豊かな感性

責任感・規範意識
社会貢献の精神

心身の健康

児童・保護者・
地域等の視点
(学校関係者の視点)

信頼され安心できる学校

教育活動に対する高い
満足

高い意欲・主体性

児童の
主体的な
取り組み

児童の主体的
な活動

関心、意欲、態度の向上

学校でのしっ
かりした習慣・
態度の定着

家庭での基本
的生活習慣の
確立

情報の
発信と受信

安全で安心で
きる学校環境

教育活動に対する
満足度の向上

向上心の高まり
・自主性の向上

学校での取組みの視
点(プロセスの視点)

充実した教育活動

効果的な生活指導

保護者・地域・他校・関係
機関等との連携・協働

充実した
教科指導

国語・算数・生活
社会・理科
音楽・図工
家庭科・体育

道徳教育の
充実

特別活動の
充実

読書活動の
充実

少人数指導・TT
指導の充実

日本語指導の
充実

環境教育の
充実

IT教育の
充実

特別支援教育の
充実

福祉教育の
充実

健康教育・
安全教育の充実

充実した
家庭学習支援

国際理解教
育の充実

人権教育
の充実

明確な行動規
範の遵守指導

学級経営の充
実

児童理解と指
導の充実

児童の課題へ
の個別対応

地域社会との
緊密な連携

保護者との緊
密な連携

他学校との緊
密な連携

関係機関との
緊密な連携

外部の適切
な関与

リーダーシップと経営

ビジョン及び学校の実態を
踏まえた学校経営の立案

校長のリー
ダーシップ

充実した教職
員体制

教職員の
協働・連携

適正な
人事管理

効率的な
業務

充実した教材・施設・
設備

教職員・学校勤務職員の
視点(組織・人材の視点)

人事考課制度
の活用

教職員・学校勤務職員
の研修の充実

校内研究の
充実

職員の資質・能力・意欲の向上

健全な
財務状況

健全な
財政支出

納税者としての市民の視点
(財務の視点)